

# Handsome

発行人 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 阿部 信行 編集責任者 足立 聡 印刷所 東京印刷株式会社

## 初のレクリエーション例会開催！

「(英知・友愛・団結)を綱領とした経済団体である。決して右翼団体ではありません。」と、ユーモアに溢れた阿部会長挨拶で、青年中央会を家族に理解頂く為、又、家庭サービスを目的とし、4月21日(日曜日)、大山フィールドアスレチック森の国にて、4月度例会(レクリエーション例会)が、開催されました。当日は、春の軟らかな陽だまりの中で、会員及び会員家族総勢240名の参加者が、各催し物に参加し、皆で楽しい一日を過ごしました。



各委員会より選抜された委員会対抗グランドゴルフにおいては、日頃の生活を支えてくれている奥様方(家族会員)が大奮闘(?)され、優勝、経済委員会、準優勝、広報委員会、第3位、4役・総務委員会、という荣誉に輝かれ各景品を授与されました。お子様には、宝さがし、輪投げ、等々のゲームも用意され景品いっぱい! 夢いっぱいのレクリエーションであったと思います。



又、昼食も各委員会で趣向を凝らし、普段包丁を持ったことの無い会員の見事な?! 包丁さばきも、各所で披露され、半煮えあり、焦げありの盛大なバーベキューパーティーで、会員家族にも、改めて、父親の偉大さを感じて頂くとともに、和気藹々の昼食であったと思われます。会員及び家族会員の全員参加によるビンゴゲームにおいても、様々な豪華景品が用意され、各入賞者に笑顔で授与されました。全員で、後片づけ及び清掃を行い、午後3時に閉会となりましたが、誰一人ケガの無い素晴らしい家族例会であったと思われます。最後に、担当委員会である総務委員会のみな様に感謝致すとともに、労をねぎらい乍ら、筆を置きたいと思います。本当に、お疲れ様でした。

(広報委員会/羽原)



# 第1回鳥取県青年中央会親睦ソフトボール大会開催

## 西部青年中央会Aチームが優勝!

4月28日(日) 淀江町運動公園において鳥取県青年中央会親睦ソフトボール大会が初めての試みとして行われた。当日は好天のもと東部、中部、西部の各会員が多数参加し好プレイ珍プレイの続出で大いに盛り上がり親睦を深めた有意義な一日だった。大会は油谷県会長と幹事担当の西部青年中央会より阿部会長の挨拶による開会式が行われ角田直前県会長の始球式後に試合が始められた。

試合は東部、中部、西部で各2チームを編成し、6チームがトーナメント方式で覇を競った。西部青年中央会Aチームはさすがに強く打線爆発で東部中部のチームをまったく寄せ付けない完全優勝を飾り、最優秀選手に中澤会員が選出された。Bチームは幹事担当らしく東部中部チームに花を持たせる最下位となり首脳陣の思惑どおりの展開となった?。試合結果は次のとおり。

<1回戦> 中部A 4-18西部A 西部B 3-5東部B  
 <準決勝> 東部A 2-22西部A 東部B 7-7中部B  
 (東部Bの勝)

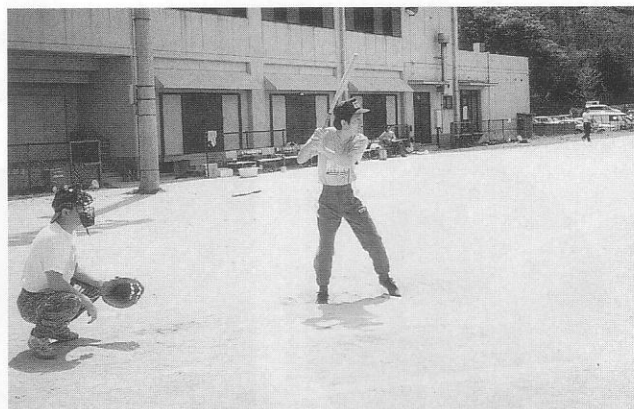
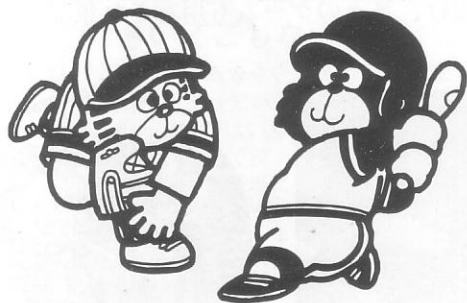
<3、4位決定戦> 東部A 4-19中部B

<5、6位決定戦> 中部A 8-4西部B

<決勝戦>

チーム	1	2	3	4	5	計
東部B	0	0	3	0	4	7
西部A	3	1	6	2	×	12

1位西部A 2位東部B 3位中部B 4位東部A  
 5位中部A 6位西部B



## 市長・市幹部との懇談会並びに一日中央会

4月19日(金) ホテルわこうにて、森田米子市長と堀境港収入役を迎え、懇談会並びに一日中央会が行われた。まず斧谷会長が、中小企業の発展なくして、地域の発展なしと挨拶され、地域の著名な方々50名の出席で、懇談会が始まった。森田市長は、全面に打ち出している健康保養都市について、自然に恵まれた交通の便の良いこの地は最適であると話され、今後向かえる高齢化社会の福祉について、日本人ほど寝たきり老人の多い国はなく、その原因の一つには、日本社会では、嫁が献身的に働き、老人の動きを奪っていると、面白おかしく話をされた。堀収入役は、今後の西部圏域の発展のためのFAZ、その起爆剤としての夢港博覧会について、境港市としての思いを話された。その後、活発な意見が出され、マリーナホテルの現状や大丸・

西協の跡地利用の問題、ダイエー出店断念の問題などをそれぞれの立場で話された。顔は良く拝見している市長さんらではあるが、昼食を食べながら懇談するのも、乙なものでありました。(by樋口)



# 4 月 度 委 員 会 報 告

## 政治行政委員会

平成8年4月16日(火) 於:米子食品会館

出席者/17名

講師/白鳳の里 統括 濱田美絵氏

内容/ 講師先生に淀江町(第三セクター)による(株)白鳳の統括〔濱田美絵氏〕を迎へ、淀江町直営事業の御話しをいただきました。

1. 淀江町の名水を生かした食事(レストラン営業)  
2. 特産品の開発、特にどんぐりを生かした商品開発に力を入れられ、四ヶ国会議(日本<鳥取>、中国<吉林省>、ロシア、韓国)を開催し、どんぐりを利用した食材について勉強会と話し合いを行い、それを基に昨年12月にどんぐりフェスタを開催し、約30種類の商品を開発して高い評価をいただいた。また白鳳の里レストラン増築し、ピーアールを兼ねて、無農薬そば打ち体験道場を開き、全国展開を町、県、民間と一緒に営業展開して行きたいと意欲的に話す姿を見て感銘いたしました。

彼女は「白鳳の夢」を現実の物にするよう努力される日々です。以上二次会は会長とともに一夜の夢を追って、いつものように飲めば飲むほど青年からおじさんへ変身するヨ〜!!

追伸: 濱田さんは美人で鈴木保奈美ばりのフェイスで独身。

会いたければ(白鳳の里へ)

## 経営投資委員会

平成8年4月12日(金) 於:COM NET

出席者/16名

講師/COM NET店長 小椋氏

内容/ 中央会のインターネットホームページ開設にあたり、まずはインターネットそのものを全員が知る必要があるため、実際に全員がパソコンを装置できるように委員会を昼・夜の二部構成とした。実際に「見て・触れる」ことに主を置き、皆それぞれで阿部会長のホームページ、各企業のホームページや○○○なものにアクセスし、時間がたつのを忘れて楽しんだ。

講師の小椋氏からは「仮想店舗」「電子取引・マネー」についての説明を聞いた。

## 経済委員会

平成8年4月10日(水)

出席者/14名

演題/「構造変革の時」

講師/(株)山陰経済研究所 社長 園山佳之氏

内容/●担当例会打合せ ●タイムスケジュール打合せ

## 広報委員会

平成8年3月5日(火) 於:米子食品会館

出席者/16名

内容/1) 役員会報告 2) 5月ハンサム企画打合せ 3) 4月例会の打合せ 4) 6月例会の打合せ 5) 6月打上げの打合せ

尚、6月打上げの打合せには、いろいろな意見が出ました。

## 社会・文化委員会

平成8年4月12日(金) 於:キングジョージ

出席者/15名

講師/境第二中学校教師(株)金津先生

内容/ 当委員会、多賀会員の同級生という事で、多賀会員の紹介で始まり、講師先生が中学校での生徒に対しての対応とか、学校での生徒の実態を事細かく話して頂きました。

いじめに対しては、暴力的いじめは、だいたい男子生徒に多いが、先生に対しては比較的分かりやすいが、仲間はずれとか、悪口などのいじめは、女子生徒に多く、先生からは大変分りにくく、対応に困るとの事でした。

いじめに対して一番の解決方法は、いじめにあった子供の親が、相手又は相手の親に対して抗議するのが早いそうです。

その後、会員と意見を交して、いじめやすいタイプとか、学校側から子供に対しての対応とか、家庭からの子供に対しての対応、対処を勉強しました。

## 情報メディア委員会

平成8年4月16日(火) 於:東亜ソフトウエア(株)

出席者/10名

講師/オープンシステム部 後中宏明氏

内容/ 今回は中小企業に役立つパソコン活用法という切り口から販売管理と仕入管理ソフトを例にとり導入プロセス、実演等の勉強をした。販売管理ソフトとは見積り・受注・販売・売掛のデータ管理を効率良く行うものであるが、7~8年前の製品しか知らなかった私にとって驚くことばかりであった。委員会終了時刻をすぎても活発な質問が続き、大変有意義な委員会であった。

## 地域ビジョン委員会

平成8年4月19日(金) 於:米子食品会館

出席者/13名

内容/1000人アンケートの集計作業

当委員会では、1000人アンケートと称して、目標1000人の人に合併問題についてのアンケートを実施致しました。会員OBの皆様の協力を得てなんとか目標の人数を達成する事ができました。ただ、その分集計作業に手間取り、5月委員会にも継続して集計作業を行う事となりました。

## 総務委員会

平成8年4月12日(金) 於:米子国際ホテル

出席者/19名

内容/1) 綱領唱和 2) 委員長挨拶 3) 役員会報告 4) 議事

レクリエーション例会開催について

●日時/平成8年4月21日(日)

●場所/大山フィールドアスレチック森の国

●内容/グランドゴルフ(委員会対抗)

宝さがし、輪投げゲーム、ビンゴゲーム

タイムスケジュール 各自役割分担の最終確認

# 突撃同行リポート

## 「狩 獵 編」

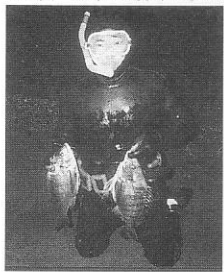
人間とりわけ、男には太古の昔より脈々と受け継いできた狩猟本能があるという。現代人では“釣り”“ハンティング”といった類のものに原始的な性を見ることができるとはなからうか。

今回の同行レポートは私の考える範囲で最も原始的かつ野蛮な狩猟方法といえる『素潜りにて魚を突く』という強烈な趣味をお持ちの経済委員会所属、柴野清会員に密着取材した。四月中旬桜冷えのする夜9時、日中は暖くなったとはいえ、魚の寝込みを襲う為、この時間に

海に潜るなど正気の沙汰とは思えない。寒暖計に目をやると水銀柱は7℃の目盛をさしている。吐く息も白い。悪い予感が脳裏を横切ったが、待ち合せ場所であるトライアスロンのゴール地点へと急いだ。既に柴野会員は到着しており、ワンカップを片手に多少頬を赤らめていらっしやる。

「今日はちょっと遅くなったけん、はや潜らいや。それとおまえのこの委員長から一緒に潜らしてやってごせっていわれと〜けん。お前のウェットスーツも用意しちゃったけんナ」予感悪寒となった。「キヨシさん潜ってもいいけど誰が写真を撮るだ?どげしょっかナ〜」と精一杯の強がりだて答えてみると、とんだ糞蛇。そこに現われたのは第13期卒業山本博義OBであった。

タイミングがよすぎる“はめられた”と気がついた時には後の祭り、眼前の漆黒の海は間抜けな私を嘲笑うかの様に冷やかである。無理やりウェットスーツに着替えさせられ浜辺に降りて行く。ここで柴野会員の装備について説明しておこう。黒のウェットスーツに全身を包み、水中メガネ、シュノーケル、足びれ、腰には20Kgの鉛付ベルト、そして手にしているのは水中ライトとハンドメイドのヤスである。「先に行くけんついてこいヨ」と言い残し海中へと消えて行く。今や氏の生存を確認できるのは水中ライトが海底を照らす閃光のみである。私も勇気を振りしぼり海水へと足を踏み入れて行く。



冷い海水がウェットスーツと足袋、手袋の間からしみ込む。胸までつかったところで、身も心も寒くなりとうとう山本OBに泣きを入れ、押問答の末テトラポットの上からの取材となった。事前の予定コースでは海浜公園前のテトラ迄の計5つを今夜は攻めるとのことであった為、生存の証ともいべき水中ライトの光を追い2つ目のテトラに先まわりしその上から様子うかがう。

水中ライトのゆらめく光が海中を上下しながら近づいてくる。時おりシュノーケルから排出される海水の音が聞える。「キヨシさん。どげな〜。」と大声で叫ぶ。声に気付いたらしく、海中のテトラの上に立ち両手に何かをかざした。ライトをしっかりとあてる。「チ・チ・チヌだ!」なんと40cmを越えようかというチヌ(黒鯛)が2枚その手にあった。「さっきこれよりがいなやつを逃したわ!60cmぐらいあったかなあ〜」俺の実力はこんなもんじゃないと言外の意味を漂わせながら再び海中へ。2時間後、待ち合せポイントに現れた柴野会員は腰から数本のワイヤーをぶらさげ上陸してきた。ワイヤーの先には40cm級のチヌが5枚。お見事としか言いようがない。今回は今年の初潜りだった為勘が仲々戻らなかったとの事。氏の話によれば最高記録は1回の潜水でチヌなど45枚。最大記録は90cmのスズキだそうで、流石にこの時は水中から持ち上げるのに人の手を借りなければならなかったそうである。これから夏に向け魚はもろろのこ、サザエ、アワビ、そして岩ガキとまさにやりたい放題の季節がやってくるのだ(ちなみに柴野氏は準漁業組合会員だそうです)。

しかしながら磯釣りを楽しむ太公望にとってはエサ取りの他に大敵出現といったところだろうか。古代一夫多婦制の時代ならばその狩猟能力の高さにより、ハーレムを築くのも夢ではなかったのではなかろうかと思わずにはいられなかった。

reported by Taro.N

## 聞いてごしない Part 10

### 「きいてごしない」

きいてごしない。今まで馬鹿なことばかり言って来たので今度は格調高い事を書こうと思っていたら、突然明日の午前中に出してくれと委員長から連絡がはいった。忘れていただつて。こらあ!ゲンコツだぞお。それで泣きながら書いています。この春例年のごとく新社会人が各職場に入って来たことであるが、現実の社会にとどまってると思う。皆それぞれに試験や面接で入社してきた優秀な人材はずである……だが、僅かな面接時間で人材を見抜くのは難しい。人材育成のプロに言わせれば、人材を見抜くには三年かかるそう。だから結婚の時なんか相手を見る眼がまだ未熟な場合が多く、後になってこんなだったのと嘆くのももっともである。結婚は博打である。(違う人はごめんさい)

新人を一人前の職業人として育てるのは職場であり、経営者、管理者の大きな努めであるが、育てる側も育てられる側も人格能力千差万別で、こうすればこう育つという鉄則はない。叱れば発憤する者、意気消沈する者、ほめればやる気を起こす者、反対に慢心してだめになる者もいて悩むことになる。

ある会社には「職場は道場である」と書いた額が掛けてある。人は仕事によって人との接し方、礼儀作法、忍耐力など人格が作られる面があり、そういうところで成長すると思う。剣道や柔道の道場は、それを習おうとする意欲のあるものが学ぶ。練習は楽ではないはずだが、月謝を払う。職場でもいろいろ教わるが、月謝は払わず給料をもらえる。この差は大きい。お金をもらって経験をしながら実地の学問、実学を学ぶ。しかも積極的に学ぶ姿勢があれば、すぐに先輩を追い越すこともできるだろう。

昔、「中央会は寺子屋だ」と言っていた会長がいた。寺子屋なんぞちいせい、ちいせい。寺子屋という子供が集まってワイワイ筆で墨を付けあっている世界ではないか。やっぱり「中央会は道場である」と私は言いたい。月謝ではないが会費を払い、意欲を持って自ら学び行動することは道場である。

だんだん酔ったせいか調子に乗りすぎたようでこれで失礼します。

酔狂人

日時 5月15日(水) 受付 18:30~

場所 サンルート米子

※臨時総会 19:00~

第1号議案 次年度副会長承認の件

第2号議案 理事、監事承認の件

第3号議案 県理事、監事推薦承認の件

※5月例会 担当:経済 19:20~

講師 山陰経済経営研究所 社長 園山 佳之氏

演題 構造変革のとき

※出席の有無を5月11日までに返信ハガキにてご回示下さい。

5月例会案内

5月定例役員会が5月1日(水)、米子食品会館に於いて開催された。当日の主な議題は、次の通り。

(1) 5月、6月例会開催の件

(2) トライアスロン取組の件

(3) 新入会員募集の件

※尚、詳細については各委員長までご照会下さい。

5月役員会報告

今年もやって来ました「ゴールデンウィーク」。短かくて4日、長くて10日もある会員もおられたかと思えます。日頃、仕事もガンバッテおられる皆さんも年に一度?の“マイホームパパ”に変身され、疲れもピークに達した方も多くおられたと思います。又、この日も仕事の会員さんほんとうにお疲れ様でした。

皆様よくガンバリました。お疲れ様でした。

編集後記

